1月号 No.670
2026.1.1（令和８年）

広報みやけ

今月の人口と世帯数
（外国人含む）
- 2,142人 （－１人）
- 1,427世帯（±０世帯）

令和７年11月30日現在
※カッコ内は前月31日比

発行：三宅村　編集：企画財政課　〒100-1212 三宅村阿古497 三宅村役場臨時庁舎　☎04994-5-0984（FAX：0932）　Eメール miyake03@vill.miyake.tokyo.jp

謹賀新年

ひたむきに全力で 新たな一年

三宅村長　山高亜紀子

明けましておめでとうございます。

村民の皆さまにおかれましては、よき新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から村政全般にわたり温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年6月、雄山山頂直下において短時間に集中して微小な火山性地震が観測されたことから、気象庁は三宅島の噴火警戒レベルを1から2に引き上げました。これにより、村では火山情報を注視するとともに、気象庁三宅島火山防災連絡事務所と連携し、防災無線などによる迅速かつ正確な情報提供に努めました。

以後、急激に火山性地震は激減し、7月には噴火警戒レベルは1に引き下げられましたが、村民の皆さまには防災備蓄の確保や災害時の心がけなど、日頃からの災害への備えを改めてお願いいたしますとともに、村といたしましても噴火災害のほか、近年、激甚化する自然災害に対し、村民の皆さまの安全・安心のため、東京都・警察・気象庁・消防本部や消防団など関係機関とより連携を強化し、引き続き防災対策に取り組んでまいります。

また、10月には台風22号・23号が猛威を振るい、友島である八丈島・青ヶ島に大きな爪痕を残しました。特に八丈島では甚大な被害により、長期の避難所生活を余儀なくされました。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

村民の皆さまにおかれましても、八丈島および青ヶ島に対する義援金への温かいご支援に心から感謝を申し上げます。

さて、昨年、村政運営では、新たに運用を開始した移住体験住宅での島ぐらし体験事業の実施や空き家活用事業補助金の拡充等のほか、本村の豊かで持続可能な村づくりの取り組みをPRすることを目的として、大阪・関西万博地方創生SDGsフェスに参加することにより、移住・定住人口の増加に向けた取り組みを進めるとともに、観光商工事業者の高齢化や後継者対策として、事業承継を推進することを目的とした研修制度の創設のほか、宿泊業等に対する施設整備への支援補助を新たに行い、観光商工業のさらなる活性化に取り組んでまいりました。

そのような中、早いもので私が三宅村長に就任してから2回目の新年を迎えることとなりました。

本村においては、人口減少や激甚化・頻発化する自然災害への対応など、さまざまな課題が顕在化し、年々深刻になっています。そのような中でも、未来に希望をつなぐ持続可能な村づくりを目指し、引き続き第6次三宅村総合計画に基づく島の暮らしをより豊かにするための各種施策を着実に進め、さらなる移住・定住人口の増加に向けた取り組みや地域特性を活かした観光商工業・農業・漁業の振興を図ってまいります。また、計画的な財政運営や公共施設等の最適化により、財政負担の軽減や公共施設・インフラの老朽化への対応を図り、組織体制の強化や事務事業の効率化により、将来世代に責任を持つ自立的で健全な行財政運営の実現に取り組んでまいります。

令和8年は、60年に一度巡ってくる丙午の年、強いエネルギーで道を切り開く、活気に満ちた年になるとされています。

島の宝である子どもたちが夢を描き、村民の皆さまが安心して暮らせる島、そして誰もが誇りを持てるふるさとを築いていくことを目指し、丙午の年にふさわしく、情熱をもって挑戦し、力強く前進する一年にしてまいります。

結びになりますが、第6次三宅村総合計画の将来像である「思いやりが環（めぐ）る豊かな島」を実現するためには、「村民・議会・行政」が共に手を携えることが重要です。引き続き、村民の皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

輝かしい新年が村民の皆さまにとって、より良い年になりますことを心からお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。

笑顔で暮らせる島

三宅村議会議長　谷　寿文

明けましておめでとうございます。

新年にあたり三宅村議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

村民の皆さまにおかれましては希望に満ちた新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より村政の発展と三宅村議会運営に多大なるご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

私たち三宅村議会議員の任期も折り返しの年となりますが、これまで以上に議会議員としての役割と責任を自覚し、一層の信頼を得られるよう努力するとともに、村民の皆さまの声をより多く行政にお届けできるよう、引き続きまい進してまいります。

昨年を振り返りますと、10月に襲来した台風22号ですが、伊豆諸島南部に暴風・波浪特別警報が発表されました。三宅島では大きな被害はありませんでしたが、友島である八丈島・青ヶ島では甚大な被害が発生いたしました。この台風22号に際しまして、被災された皆さまには謹んでお見舞いを申し上げます。

また、本島では6月17日㈭に三宅島山頂火口直下の地震活動が活発化し、噴火警報（火口周辺）が発表され、噴火警戒レベルが1から2に引き上げられ緊張が走りましたが、地震活動は低下し、特段の地殻変動は認められず噴火の可能性が低くなったため、噴火警戒レベルが2から1に引き下げられました。

その他にも日本各地で豪雨および暴風雨による災害が発生し、甚大な被害が報告され、多くの地域住民の安全が脅かされました。

これらの災害により犠牲になられた皆さまに謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまの一日も早い復旧・復興を切に願っております。

さて、島内イベントでは牛頭天王祭、2年に1度の富賀神社大祭、おたのしみ運動会、マリンスコーレ21、三宅島産業祭などさまざまなイベントが実施されるなど、村民の皆さまの活気と笑顔が満ち溢れる姿を感じることができました。

島外においては東京愛らんどフェア島じまん2025が開催され各島の特産品が販売されるなど大きなイベントでの離島のPRに繋がった一年となったのではないでしょうか。

さて、本年は三宅村が掲げる「第6次三宅村総合計画」前期5カ年の5年目になります。村の基本理念である「ともに創り出す島（ふるさと）の未来」そして、10年後の将来像である「思いやりが環（めぐる）豊かな島」を目指す姿として、計画に基づく各事業を着実に取り組んでいただき、特に自然災害はいつ発生するかわかりません。それには、災害に強い島づくりとしての防災体制の強化は大きな課題ではないかと強く感じております。

島民が安心安全に笑顔で暮らせる島を目指して、防災体制等の充実が図られるよう切に願っております。

そして、今年は世界最大の国際スポーツイベント、FIFAワールドカップ、ワールドベースボール・クラッシック（WBC）開催が予定されます。WBCでは日本の2連覇に期待したいと思っております。また、わが国では9月に愛知県・名古屋で第20回アジア競技大会が開催予定となっております。みんなで応援いたしましょう！そして、この機会により多くの方の健康維持増進に取り組んでいただき、誰もが健康で安心して、生活を送ることができることを期待いたします。

われわれ三宅村議会は、これからも笑顔で暮らせる三宅島を目指し、さまざまな課題に対して議員全員が一体となり村政の前進のために、村民の皆さまの声を行政にお届けできるようまい進する議会を目指してまいります。

結びになりますが、本年もより一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げ、令和8年が三宅村と村民の皆さまにとって健康で素晴らしい年になりますようご祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

丸くつながる三宅島

三宅支庁長　金子　俊一

あけましておめでとうございます。

旧年中は支庁の事業運営に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

おかげさまで、三宅島で2度目の正月を迎えることができました。

さて、昨年を振り返りますと、なんと言っても2年に1度開催される富賀大祭に、とても大きな感銘を受けました。6日間にわたり参加させていただき、私にとって大変貴重な一生の思い出となりました。

祭りでは各地区の方々から、昔の富賀大祭の様子や、しきたりが脈々と現在に継承されていることなどを聞かせていただき、また、神輿や木遣り・太鼓の威勢のよさ、沿道で熱狂する子供たちを実際に見て、過去から現在、そして未来へと、祭りを通じて三宅島がつながっていく様を目の当たりにしました。そして、神輿の担ぎ方など5地区それぞれにいい個性があり、地区間の受け渡しにより三宅島全体が時間・空間でつながって大きなパワーを感じました。

また、2年ぶりに開催した島じまん2025は、会場の竹芝桟橋は舞台もブースも大盛況で、内地の方々の島しょへの関心の高さを強く感じました。昨年帰任した懐かしい面々も駆けつけて来られ、今でも三宅島につながっていてくれることに有難く思いました。

さらに昨年は、若い人のパワーも感じました。島内で新しく事業を始めたり、エンデューロレースに挑戦したり（賞品でバイクを引き当てたり）、小学校の学芸会では、島の宝である子供たちが一生懸命に役を演じきって、見る人の感動を誘いました。

そのほか枚挙に暇がありませんが、多くの方々の協力で三宅島の盛り上がりを感じた一年でした。

一方で、昨年は、噴火警戒レベルが一時的に引き上がるなど、物資やエネルギー等のリソースが限られる離島における災害への備えの必要性をより強く感じた年でもありました。

台風22号・23号では、友島である八丈島・青ヶ島に大きな被害が発生し、災害に遭われた方々の御心痛を察するとともに、復旧・復興に尽力されている方々に心から敬意を表します。

こうした災害は、いつどこで起きるか予測は難しく、自助・共助・公助の全てが有効に発揮できるよう日頃から備えておくことが非常に重要です。

祭りなどで見られた地域のつながり、普段からの顔の見えるお付き合いが、内地に比べて三宅島にはとても良く残っており、いざという時にも大きな力を発揮することになると感じます。

支庁におきましては、伊ヶ谷港線や三池港船客待合所の整備、無電柱化工事等のインフラ強靭化のほか、都道・林道、港湾空港施設、砂防ダム等の維持管理に努めてまいります。また、村民の方々、来島者の方々が、ますます三宅島の豊かさを感じられるよう、職員一同、力を合わせ産業振興、保健福祉、学校教育等に取り組んでまいります。

本年も村民の皆さまと一丸となって島の持続的発展に向け尽力してまいりますので、引き続き支庁事業へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

末筆になりますが、本年が皆さまにとって幸せな一年となりますよう心からお祈りし、私の年頭のあいさつとさせていただきます。

村長室だより

令和７年11月１日から令和７年11月30日まで

- 5日　安全・安心の道づくりを求める全国大会出席
- 7日　東京都総務局長来庁対応
- 8日　WERIDE三宅島エンデューロレース2025出席
- 10日　三宅村特別職報酬等審議会出席
- 13日　全国治水砂防促進大会出席
  三宅村監査委員来庁対応
- 14日　群馬県みなかみ町長来庁対応
  長野県伊那市長来庁対応
- 15日　第26回三宅島産業祭出席
- 18日　公益財団法人東京都島しょ振興公社「令和７年度第２回評議員会」出席
  第４回「島じまん2025」実行委員会出席
  令和７年度第２回伊豆諸島・小笠原諸島地域力創造対策協議会出席
  令和７年島嶼町村長会議(第３回)出席
  令和７年東京都島嶼町村一部事務組合「第１回組織団体長会議」出席
  在宅医療について東京都医師会と町村長との意見交換会出席
- 19日　全国町村長大会出席
  令和７年度島しょ地域保健医療協議会出席
  令和７年度島しょ健康危機管理対策協議会出席
- 20日　水産業振興・漁村活性化推進大会・定期総会出席
  全国簡易水道協議会「令和７年度第３回理事会」出席
- 21日　第70回簡易水道整備促進全国大会出席
  しまづくりサミット2025出席
  令和７年度第１回都市町村協議会出席
  都市町村懇談会出席
- 23日　富賀神社の大祭出席
- 25日　東京都島しょPTA連絡協議会来庁対応
- 27日　三宅村議会運営委員会出席
  三宅村議会全員協議会出席
  三宅中学校生徒会来庁対応
- 28日　日本政策金融公庫支店長来庁対応
  令和７年度第１回東京都離島航空路地域協議会出席（web会議）

島しょ農林水産総合センター通信

「第26回三宅島産業祭農産物品評会」

三宅島の農産物周知や農産物の品質、生産意欲の向上を図るため、毎年、産業祭に合わせて農産物品評会が開催されています。今回、花き7点、果樹32点、野菜47点、合計86点の出品があり、産業祭の開催に先立ち、11月14日㈮に各関係団体の代表者計4人で審査を実施しました。

昨年夏は厳しい暑さに加え、まとまった降雨がなく一部の農業用水が渇水するなど、水不足にも見舞われた夏となりました。10月に入ってからは台風や集中豪雨が相次ぎ、農作物にとって非常に厳しい気象条件となりました。こうした状況で優れた農作物を出品された生産者の皆さまに、改めて敬意を表します。

花き類では、定番のキキョウランはいずれも品質が高く、審査に苦心しました。葉先の傷みが少なく、最小限の調整で仕上げられたものを上位としました。また、モンステラやアオノクマタケランが出品され、会場を鮮やかに彩っていました。

農産物品評会審査の様子

果樹類ではレモン、ユズ、ミカンなどの柑橘類が多く出され、爽やかな香りが会場に漂っていました。その他、バナナ、スターフルーツなどの熱帯果樹の出品もあり、観覧者の目を引きました。パッションフルーツは他の品目に先立ち、出荷盛期である7月31日㈭に審査を行いましたが、いずれも贈答用として通用する高品質なものでした。特に傷や着色ムラがない美しいものを最上位の東京都知事賞としました。

野菜類では、サツマイモが最も多い14点の出品でした。他にも、特産のアシタバのほか、赤芽芋を中心としたサトイモやダイコンなどの根菜類、シシトウやピーマンなどの果菜類、ネギやシュンギクなどの葉茎菜類などが並びました。また、この時期での栽培が難しいイチゴもあり話題となりました。厳しい栽培環境にも関わらず多様な農産物が出品され、三宅島農業の底力を感じました。

産業祭は島民の方はもちろん、島外からお越しの方にも三宅島の産業の魅力を知っていただく絶好の機会です。農産物品評会は、部会の加入や販売経験の有無を問わず、三宅村にお住まいの方であればどなたでも出品できます。次年度もぜひ、積極的なご参加をお待ちしております。

問い合わせは東京都島しょ農林水産総合センター三宅事業所☎⑥1414。

民生児童委員一斉改選

民生児童委員の一斉改選に伴い、12月1日㈪付で新たな委員が委嘱されました。生活や福祉全般の相談、介護や障がいの悩み、または子育てに関することなどお気軽にご相談ください。改選後の委員は＝別表＝のとおりとなります。

別表　民生・児童委員の連絡先（令和７年12月１日現在）

地　区	委員氏名	電話番号
神　着	浅沼　里沙	8-5880
伊　豆	穴原　甲一郎	2-1239
伊ヶ谷	髙松　良員	090-3222-7353
阿　古	沖山　末子	5-0674
	沖山　拓也	070-1466-2177
坪　田	北村　友基	8-5826
	岡田　真希	090-9969-8502
主任児童委員	筑波　恵美子	6-1339
	関　健太郎	090-1453-5399

任期：令和７年12月１日～令和10年11月30日
※欠員：民生児童委員２名（神着１名、阿古１名）

三宅村消防団出初式を挙行

三宅村消防団による新春恒例の出初式を1月11日㈰午前11時より阿古体育館において挙行します。

晴天時は式典後に役場臨時庁舎駐車場にて一斉放水を披露いたします。

第4回 三宅村議会定例会議決結果

12月3日㈬、第4回三宅村議会定例会が1日間の会期で開催されました。

本定例会では、三宅村長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例など条例4件の他、令和7年度三宅村一般会計補正予算（専決処分含む）3件、特別会計補正予算4件、事業会計補正予算1件、東京都島嶼町村一部事務組合の共同処理する事務の変更及び東京都島嶼町村一部事務組合規約の変更について、令和6年度三宅村一般会計及び特別会計決算の認定について審議され、原案のとおり承認2件・可決11件・認定1件となりました。

また、一般質問では5人の議員から村政について8件の質問が行われました。

1月は村都民税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、

【緊急連絡先】平日夜間・休日の閉庁時の連絡は☎04994⑤0981。

2026年1月のカレンダー

4日㈰	とりの日【アカコッコ館入場無料】
8日㈭	始業式【小・中学校】 定期予防接種【中央診療所】 ・高齢者肺炎球菌・帯状疱疹ワクチン（14:00～14:15） ・B型肝炎・小児用肺炎球菌・5種混合・ロタ同時接種（14:30～14:50） ・B型肝炎3回目、小児用肺炎球菌3回目（14:50～15:00） ・MR、水痘、小児用肺炎球菌追加、5種混合追加（15:00～15:10） ・BCG（15:10～15:20） ・日本脳炎、DT2期（15:20～15:40） ・子宮頸がんワクチン（15:40～15:50） 任意予防接種【中央診療所】（15:40～15:50）
11日㈰	とりの日【アカコッコ館入場無料】
15日㈭	保小中高合同作品展【郷土資料館】20日まで
17日㈯	学校公開・書初め展【小学校】 学校公開・全校百人一首大会【中学校】
21日㈬	おやこっこルーム【阿古福祉会館】
22日㈭	定期予防接種【中央診療所】 ・高齢者肺炎球菌・帯状疱疹ワクチン（14:00～14:15） ・B型肝炎・小児用肺炎球菌・5種混合・ロタ同時接種（14:30～14:50） ・B型肝炎3回目、小児用肺炎球菌3回目（14:50～15:00） ・MR、水痘、小児用肺炎球菌追加、5種混合追加（15:00～15:10） ・BCG（15:10～15:20） ・日本脳炎、DT2期（15:20～15:40） ・子宮頸がんワクチン（15:40～15:50） 任意予防接種【中央診療所】（15:40～15:50）
23日㈮	とりの日【アカコッコ館入場無料】
24日㈯	マイナンバーカード手続き臨時開庁《完全予約制》(9:00～12:00)
26日㈪	温泉の日【12歳以上150円で温泉利用可能】
27日㈫	みなかみ体験学習【中学２年生】31日まで
30日㈮	プレミアムフライデー【午後３時以降利用無料】

｜問い合わせ｜
- 小・中学校の予定 …… 三宅村教育委員会 ☎⑤0952
- プレミアムフライデー …… 観光産業課観光商工係 ☎⑤0920
- おやこっこルーム …… 福祉健康課健康係 ☎⑤0911
- 検診・予防接種相談等 …… 福祉健康課健康係 ☎⑤0911
- マイナンバーカード手続き …… 村民課住民年金係 ☎⑤0904

｜ごみ出し・持ち込み｜
- クリーンセンター（持ち込み）
  不燃：火・木曜日
  可燃：月・水・金曜日
- 各地区のごみ出し
  阿古・伊ケ谷・伊豆地区：月・木曜日
  神着・坪田地区：火・金曜日

※東京法務局へのお問い合わせ先は下記のとおりです。
東京法務局：不動産登記 ☎03-5213-1330・法人登記☎ 03-5213-1337

給与支払報告書について

令和７年中に給与・賃金・賞与を支払った事業主の方は金額の多少や常勤・非常勤の別に関わらず、２月２日㈪までに給与支払報告書（個人別明細書）と給与支払報告書（総括表）および普通徴収希望者がいる場合、普通徴収切替理由書を村民課税務係へ提出してください。

提出時の注意

①対象は令和８年１月１日㈭現在、三宅村に住んでいる受給者分のみ（令和７年12月31日㈬以前に転出した人は転出先の役所へ提出）
②令和７年中の退職者についても提出
③住宅借入金等特別控除は居住開始年月日を必ず記入
④控除対象となる三宅村に住民登録のない配偶者や扶養親族の続柄・生年月日を摘要欄に記載
⑤控除の対象とならない三宅村に住民登録のない16歳未満の扶養親族の続柄・生年月日を摘要欄に記載

問い合わせは村民課税務係☎⑤0983。

償却資産申告書の提出について

令和８年１月１日㈭現在、三宅村内で事業を営んでいる方は、村内に所有している機械・備品などの償却資産について所有状況の申告が必要です。申告書の提出期限は２月２日㈪です。

申告書類については村のホームページに掲載していますのでご確認ください。

問い合わせは村民課税務係☎⑤0983。

法律相談を開催します

東京三弁護士会

東京三弁護士会による法律相談が開催されます。相談をご希望の方は、この機会をご利用ください。

▽日時＝１月22日㈭午前11時～午後４時30分（相談時間は１人40分以内）。次の予定は２月26日㈭となります。
▽場所＝三宅村役場臨時庁舎１階大会議室
▽相談内容＝無料一般相談（当日のみ）
▽予約受付＝平日の午前９時30分～午後５時（正午～午後１時を除く）
▽主催＝東京弁護士会・第一東京弁護士会・第二東京弁護士会

事前予約・問い合わせは法律相談センター☎03-5995-8575。お悩みやご相談のある方はお気軽にご利用ください。

登記手続き相談

東京法務局

東京法務局の担当職員が登記申請（不動産／商業・法人登記）の手続方法をご案内します。役場に設置された「ウェブ会議システム」を通じての手続案内となります。ご利用は完全予約制とし、事前予約者のみの対応となっていますので、ご注意願います。

▽日程＝１月13日㈫、14日㈬（次回の予定は２月10日㈫、12日㈭）
▽場所＝三宅村役場
予約・問い合わせは不動産登記に関するもの☎03-5213-1330、商業・法人登記に関するもの☎03-5213-1337。
※１月開催日程の予約は１月９日㈮正午までにお願いします。
▽相談時間＝午前９時～午後４時（正午～午後１時を除く）。１回の相談時間は20分

みんなの国民年金

20歳になったら国民年金

国民年金は20歳から60歳までの方が加入し、保険料を納める制度です。国が責任をもって運営しているため安定しており、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

老後のためだけのものではありません！

国民年金は、年をとったときの老齢年金のほか、病気や事故で障害が残ったときに受け取れる障害年金、加入者が亡くなられた場合、その加入者により生計を維持されていた遺族が受け取れる遺族年金もあります。

学生納付特例制度とは

学生は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は学校教育法に規定する大学、大学院、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限１年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

申請時に必要な書類は次のとおりです。

①基礎年金番号通知書
②在学期間がわかる学生証のコピー（裏面に有効期限、学年、入学年月日の記載がある場合は裏面のコピーを含む）または在学証明書（原本）

問い合わせは、港年金事務所☎03-5401-3211または村民課住民年金係☎⑤0904。

餅の窒息に要注意

中央診療所　小川　南欧

寒い日々が続いており、暖かい食べ物や飲み物がおいしい季節になりました。年末年始には特に、お餅を食べる機会が増えます。家族や仲間が集まる温かい時間の象徴でもありますが、毎年全国的に「お餅による窒息事故」は後を絶ちません。

特に高齢の方や小さなお子さんは、飲み込む力・噛む力が弱いため、わずかな油断が大きな事故につながることがあります。

診療所としても、島民の皆さんに安心して季節の味を楽しんでいただくために、改めて注意点をお伝えします。

まず、お餅は「小さく切る・小さく丸める」ことが大切です。大きいまま口に入れると、喉に張りつきやすくなります。また、よく噛むことで唾液と混ざり、喉を通りやすくなります。急いで飲み込むと危険ですので、会話をしながらでも、ゆっくり味わうよう心がけてください。

高齢の方は、飲み込みにくさを自覚していなくてもリスクが高まることがあります。家族や周囲の方は、食べる様子に気を配り、必要に応じて「食べる速度をゆっくりにする」「飲み物をそばに置く」「一口を小さくする」など、さりげないサポートをお願いします。食べる前に温かい飲み物をひと口飲むことも、喉が動きやすくなるためおすすめです。

万が一、周囲で誰かが餅を詰まらせそうになった場合は、可能であれば背中を強くたたく、意識がある場合は前かがみにさせるなど、周囲ができる範囲で対応します。ただし、無理に指を口の奥へ入れると、かえって押し込んでしまう危険があるため注意してください。

お餅はおいしく、特に冬の食卓に欠かせない大切な食文化です。今年も安全に、楽しく味わっていただけるよう、一人一人の心がけをお願いします。

広報からのお知らせ

情報提供は、毎月第２週月曜日までに内容と連絡先を下記に送付してください。

掲載は紙面に余裕がある場合に限られます。また、文体はご一任ください。

問い合わせは企画財政課企画情報係☎⑤0984、✉miyake03@vill.miyake.tokyo.jp

航空機の運航状況
（R7.11.1～11.30）

	就航率	搭乗率
調布⇒三宅	95.59%	69.39%
三宅⇒調布		89.96%

【問い合わせ】
新中央航空㈱三宅島空港
☎04994-6-0006

介護保険料の納付月。2月2日までに納めてください。

【防災行政無線電話対応サービス】☎04994⑤1660。

令和7年

台風22号・23号の義援金

八丈町と青ヶ島村に贈呈

令和7年10月に襲来した台風22号・23号により、甚大な被害を受けた八丈島および青ヶ島への支援の一環として三宅村役場臨時庁舎および各出張所に設置した義援金箱、自治会連絡協議会と三宅中学校生徒会を併せて65万9176円となりました。

皆さまの温かいご支援・ご協力ありがとうございました。

寄せられた義援金は、12月22日(月)に山高亜紀子村長と谷寿文議長が、東京都島嶼町村一部事務組合会議室において山下奉也八丈町長、佐々木宏青ヶ島村長に義援金目録を贈呈いたしました。

八丈町および青ヶ島村の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

問い合わせは総務課庶務係☎⑤0981。

山下八丈町長へ贈呈

佐々木青ヶ島村長へ贈呈

自治会連絡協議会

三宅中学校生徒会

令和7年秋の叙勲

消防功労で瑞宝単光章

浅沼汪元副団長が受章

11月3日(月)に秋の叙勲が発表され、国家または公共に対する功労のある者で、永年にわたり消防の発展向上に努め、顕著な功績を残した者に贈られる瑞宝単光章を浅沼汪氏が受章し、12月15日(月)に山高亜紀子村長より伝達されました。

同氏は昭和49年に三宅村消防団に入団し、副団長を4年勤めあげ、36年間にわたり団務に精励されました。

浅沼汪氏が「瑞宝単光章」を受章

2月1日(日)は村民の日です

2月1日(日)は三宅村、阿古村、坪田村の三か村が対等合併し「三宅村」となった日です。この日を記念した「村民の日」には、三宅島郷土資料館やアカコッコ館、三宅村レクリエーションセンター、路線バスが無料となります。

また、「令和8年三宅村功労者表彰式」を2月1日(日)午前10時より三宅村役場臨時庁舎にて行います。

問い合わせは総務課庶務係☎⑤0981。

教育委員会便り

保小中高合同作品展

園児、児童、生徒の作品を多数展示した、保小中高合同作品展を開催します。子供たちが一生懸命取り組んだ作品をぜひご覧ください。

▽日付＝1月15日(木)から20日(火)まで

▽場所＝三宅島郷土資料館

問い合わせは三宅村立三宅小学校☎②0039。

新着本の紹介

絵本作家たかだしんいちさまよりご寄贈いただきました。

東京都出身の絵本作家である、たかだしんいちさまから作品の寄贈がありました。優しい気持ちに包まれる絵本をぜひお子さまとご一緒にご覧ください。

「しってるよ」

「かあちゃんのこと、なーんでもしってるよ」という男の子が、ある日お手伝いに失敗してしまい、怒られると思ったら…。

「いまがいい」

「あれやってみたい！」とお願いしても「今度ね」といつも言われている女の子が「いまがいい！」と怒り出してしまい…。

「ないしょだよ」

母の日にお父さんと子供たちが内緒でパンケーキを作ろうとして…。

三宅村立図書館☎⑤1453、開館午前10時～午後5時、水曜日休館日。

ファミリー・サポート・センター

随時会員募集中

三宅村では子育て支援サービスの一環として、ファミリー・サポート・センター事業を実施しています。ファミリー・サポート・センターは、子育ての援助を受けたい人（依頼会員）と子育ての援助を行いたい人（提供会員）が、地域の中で助け合いながら子育ての相互援助活動をする会員組織です。三宅村より利用料金の助成が受けられるため、保護者の方の仕事や通院、外出、リフレッシュなど、さまざまな場面で安心して利用いできます。

また、会員同士の交流会も行っており、11月の芋ほり交流会では約30人の親子にご参加いただきました。3月には、お子さまの衣類やおもちゃなどを無償で譲り合うリユース会の開催を予定しています。

三宅村ファミリー・サポート・センターでは随時会員を募集しています。提供会員はお子さまが好きな方であれば資格は不要です。

会員登録または問い合わせはシルバー人材センター☎⑥1244。

11月の芋ほり交流会

アカコッコ館通信 no.166

三宅島自然だより

「今年の干支にちなんだ野鳥」

明けましておめでとうございます。今年は午年（うまどし）ですね。三宅島には哺乳類の馬はいませんが、馬にちなんだ生きものはいます。例えばタツノオトシゴの仲間で、英名はシーホースと呼ばれます。また、和名に「ウマ」がつくタツノオトシゴの仲間もいます。

野鳥のコマドリ（駒鳥）の駒は馬や子馬という意味です。さえずりが馬のいなないに似ていることから、この名前がつけられました。声が美しいことから、日本三鳴鳥の一種にも指定されています。見た目も美しくバードウォッチャー憧れの野鳥です。本州で見るには春から夏の間に、高い山に登る必要がありますが、三宅島では一年中見ることができ、平地にも生息しています。

本格的にさえずり始めるのは三月以降ですが、真冬でも風のない穏やかな日には、その声を聞くことがあります。一年の始まりに、コマドリの魅力に触れてみてはいかがでしょうか。

オスの体は鮮やかなオレンジ色

イベント情報

イベント名	日時	場所	参加費・定員
①野鳥の巣箱づくり	1月10日(土) 午後1:30～午後4:00	アカコッコ館	要申込　10名まで 無料
②あみあみアカコッコ	1月18日(日) 午後2:00～午後4:00	アカコッコ館	要申込　10名まで 無料

①巣箱を作って野鳥の子育てのお手伝い！中学生以上は１人でも参加OK、小学生以下の子供は大人の方とご参加ください。
②かぎ針編みのかわいいアカコッコをつくろう。初心者の方でも作れます。
詳しくは三宅島自然ふれあいセンターアカコッコ館HPをご覧ください。問い合わせ・申し込み☎⑥0410、FAX⑥0458

みやけの宝

酒本 芹奈（さかもと せな）

誕生日：令和４年10月29日

メッセージ

好き嫌いがハッキリしているセナちゃん♥
ニコニコ笑顔でみんなに愛される子になってね。

【申込み方法】写真（データ）・名前（ふりがな付）・性別・生年月日・保護者からのメッセージに、保護者氏名と住所・連絡先を添えて企画財政課へ持参またはメール（件名：みやけの宝）をmiyake03@vill.miyake.tokyo.jpへ送信。
【対象：３歳未満】※写真は返却できません。